

新上五島
移住
ガイドブック

五島列島 / 新上五島町

島で暮らす。

上五島で暮らしてみませんか？

新上五島町とは、長崎県・五島列島に位置する島です。

2004年に、若松町・上五島町・新魚目町・有川町・奈良尾町

が合併して、「新上五島町」が誕生しました。

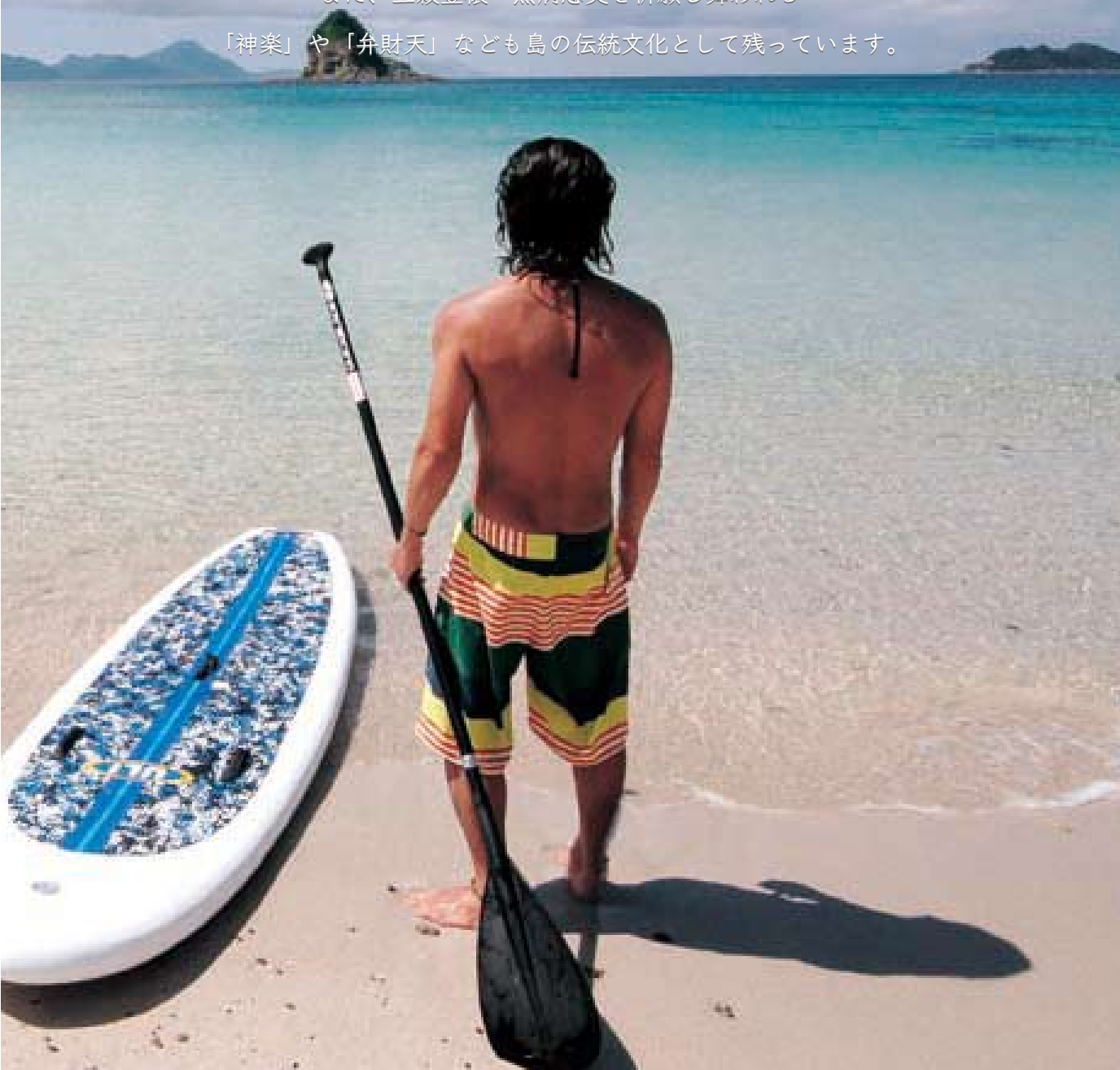
南北にかけて細長い島で、山々が連なり入り組んだ地形をしています。

リゾート地のような、エメラルドグリーンの海、水平線に沈み

島を赤く染める夕陽、圧倒的な自然、教会群が魅力です。

また、五穀豊穰・無病息災を祈願し舞われる

「神楽」や「弁財天」なども島の伝統文化として残っています。



移住者インタビュー

04
05

食を通じ 地域と交流
かもめ亭

06
07

人の繋がりに支えられ
上五島サーフクラブ

08
09

船に乗り、鋤を振る
岡本さんご夫婦

10
11

豊かな自然 制作に没頭
OLD FELLOW COMPANY

12
13

森と人生を切り拓く
くらしの学校「えん」

14
15

波乗りと生きていく
LOVERS 69

上五島ってどんな島？

16
17

上五島の風景

18
19

季節・イベントカレンダー

20
21

くらしの便利帳

22
23

上五島のMAP

24
25

移住者の本音

26
27

上五島出身者の声

28
29

上五島 アクセス

30
31

病院・補助金・ホームページ

※ このガイドブックの中では、新上五島町のことを「上五島」と表記しています。

食を通じ 地域と交流



profile

吉岡 悟司 1978年生まれ 宮崎出身
宏恵 1981年生まれ 東京出身
移住歴 H25～(東京→福岡→上五島)

新上五島町 有川郷2427-11



戊申在住

かもめ亭

かもめ亭

海を眺めながら食事ができるレストラン。宮崎県出身の吉岡悟司さんと実家が上五島にある宏恵さん夫妻が経営しています。夏場は海水浴客でにぎわう「蛤浜海水浴場」の近くに2014年4月にオープンしました。

コンセプト

「温故知新」という言葉を motto に、東京・福岡での料理人経験を生かし、多様なニーズに対応できるフットワークの良いメニュー作りを心がけています。地元の方々の食習慣や文化等も取り入れながら、かもめ亭オリジナルのソウルフードも開発できればと考えています。またたくさんの方々気軽に来店していただけるようなアットホームなお店作りを心がけたいと思います。



上五島で飲食店を始めるきっかけ

料理人として、お店を持つという目標があり、2人の中でも話し合いました。当初は自分たちの地元、九州でお店をだそうという考えから、悟司さんは単身で福岡に調査も兼ねて行きました。後に宏恵さんも合流しました。ある時、悟司さんが冗談まじりで「上五島(宏恵さんの両親もいる)もいよいよね」と提案した事が徐々に現実味をおび、悟司さんも上五島を訪れ良い印象を受け思い切って上五島にお店を建てることを決断しました。

オープンまでの道のり

上五島でお店を始めようと決めてからの準備期間は1年程でした。海が見える場所という条件で土地を探すことから始まりました。夫婦共に福岡に住んでいたので建築業者さんとのやりとりが大変でした。そんな時は、両親に助けをもらいながら、テーブルやカウンターのサイズ、店内の配色や素材、厨房機材の選択・設置も計画的に進みました。想定外の課題なども出てくる可能性もありますが、そんな時も楽しみながら移住に向けての準備ができるが一番良いと思います。

ひとのよみ

上五島でお店をする上で、とても良かった点は、お客さんが元気で明るく、たくさん食べてくれることです。また、オープン当初はとても嬉しいことに予想をはるかにこえたお客様に来店していただき、食事の提供が遅れてしまいました。寛大な心で「よかよくまた来るね」と許していただき、申し訳なくもとても励みになりました。

今後のかもめ亭

地域の方から、もっと身近に感じてもらえるようなお店にするために、かもめ亭としてイベントを企画していきたいと思えます。野菜を作っている地元の方と契約し、お店の食材として使っていきたいです。お店のスペースを利用した「かもめ亭」厳選の野菜の販売。

かもめ亭特製のドレッシング販売。また、仕事の時間に余裕を持たせ、地域活動に積極的に参加したいです。



上五島で過ごして

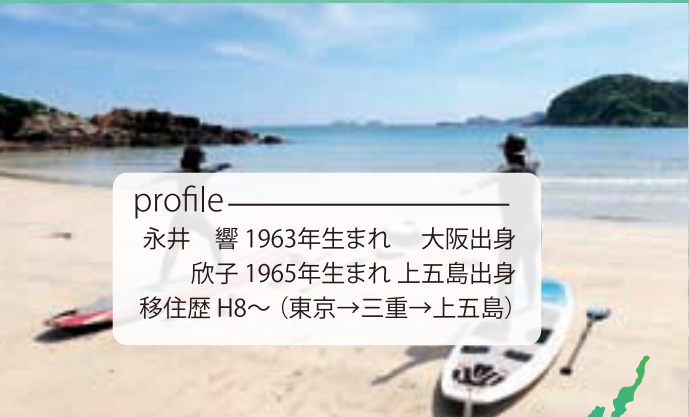
「人、自然、新鮮な魚が手に入ることの重要さ」「滋味豊富」

生活していて、おすそ分けを頂くことや、お店に人の繋がりで来ていただけることなど気持ちの良い人付き合いができて嬉しく思っています。お店と住居が一緒なので、以前の生活と比べると移動時間が少なくなり、生活と仕事の間に余裕ができました。島に住んでみて繁華街で遊ぶことはできないけど、自然を堪能できる環境があることを気に入っています。

今後の上五島について、あまり変化は望んでいません。ないものは、ない。として受け入れつつ、その分、上五島にある自然や文化などを存分に楽しみたい。島にうまく調和した新たな活動が生まれ、地域に活気が生まれることを期待しています。



人の繋がりに支えられ



profile

永井 響 1963年生まれ 大阪出身
欣子 1965年生まれ 上五島出身
移住歴 H8～(東京→三重→上五島)

新上五島町 有川郷2554-27



始在住

上五島サーフクラブ

島の先生

移住を決めるまでは、出身の大阪や東京で約10年間アパレルメーカーの営業をしていました。25歳の頃に、先生になり教育という形で子どもと関わる仕事をしたと思います。立ちました。そこから、大学に入学して教員免許を取得し、三重の塾講師としての生活がスタートしましたが、学校の先生として教壇に立ち、子どもとともに成長したいという思いが強くなりました。先生として働くことができる場所を探した中で、妻の故郷「上五島」で臨時職員の募集があると知り、移住を決意しました。そこから島の先生としての生活が始まりました。



始めてみたら需要があった

約10年臨時教員として働いた後、自分の子どもに勉強を教えようと思った「塾」。初期は自分の子どもの友達が何人か参加し一緒に教えていましたが、翌年から地域の情報・評判が人を呼び、生徒数が増えていきました。

今も行っている学童保育も、最初は近所のお母さんが「子守りをしてくれないか？」と3人の子供を引き受けたことが始まりでした。自宅で、20人の子どもを学童で引き受けていた時期もありました。

眺めているだけでは、もったいない 上五島の海を体感してほしい

十代の頃からしていたサーフィンを、上五島でも地域のサーファーと楽しんでいました。

地域の方に教えていたことが、きっかけで「上五島サーフクラブ」を立ち上げました。サーフレッスン、SUP(スタンドアップパドル)、シーカヤック、ヨガを地元の方を含め、観光客の方にも体験してもらい、五島の海の素晴らしさを伝えています。その体験がきっかけで上五島を好きになり移住した方もいます。



良い方向へ循環する島へ

ヨガを始めたきっかけは、10年前に自身の腰痛を自己流のヨガ（ビデオを見ながら）で治療したことでした。島や地方にいると「車社会」で運動不足になりがちになるため、初心者向けのヨガレッスンを始めました。最近では、ヨガに通う年配の方からも「わたしも、SUPをやってみたい！」との声が上がっています。基礎体力を備えた後に、海を楽しんでもらうことができれば嬉しいです。五島の海を活用したフィットネスなども考えており、健康であるからこそできる、人の活動の循環を生みたいと思っています。

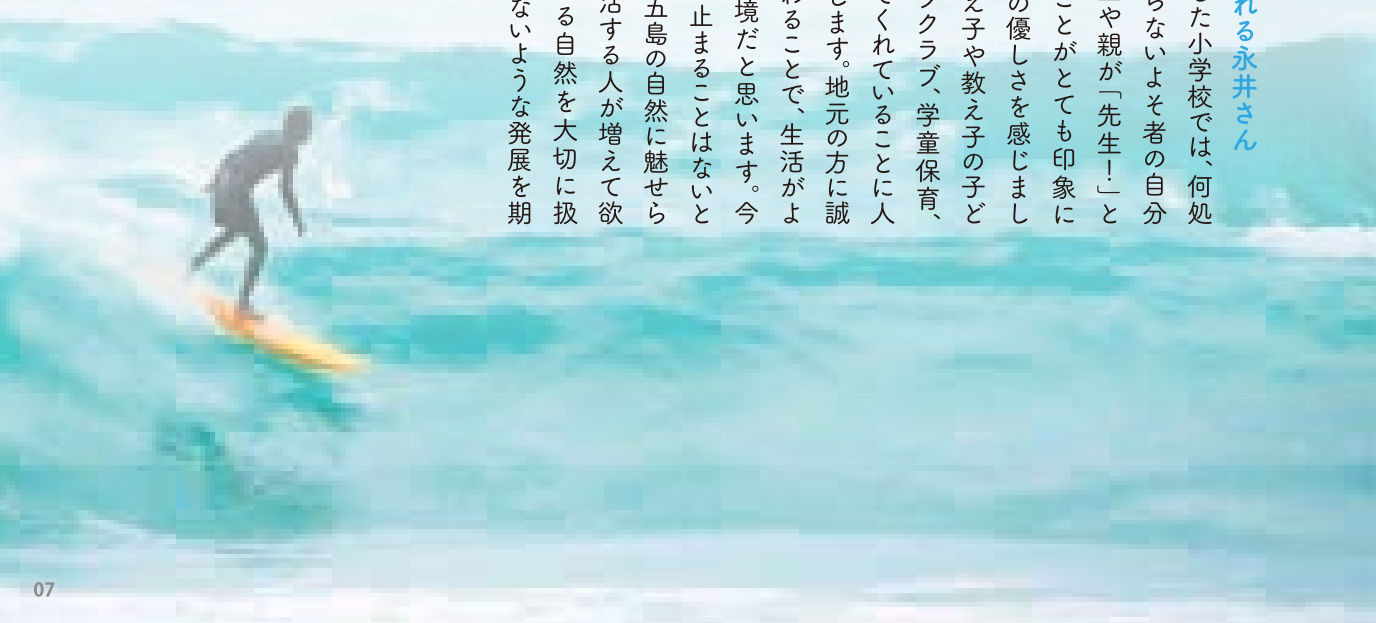
みじょ

上五島の唯一の情報誌として、平成18年に地域の活性化の一助になればとボランティア有志数人で創刊した「みじょ」は、五島列島の方言で「みじよか」（「かわいい」との意味）という言葉と英語のJOY（「喜び」）を合わせてネーミングされました。2代目の編集長として活動しています。



3世代に愛される永井さん

最初に赴任した小学校では、何処の誰かも分からないよそ者の自分に対して、児童や親が「先生！」と慕ってくれたことがとても印象に残っており、人の優しさを感じました。今では、教え子や教え子の子どもや親がサーフクラブ、学童保育、ヨガを利用してきていることに人の繋がりを感じます。地元の方に誠意をもつて関わることで、生活がより充実する環境だと思っています。今後、人口減少は止まることはないと思いますが、上五島の自然に魅せられて楽しく生活する人が増えて欲しいです。今ある自然を大切に扱い、景観を損ねないような発展を期待しています。



船に乗り、 鍬を振る



profile

岡本 英稔 1983年生まれ 兵庫出身
幸代 1983年生まれ 香川出身
移住歴 H22～(岡山、神戸→京都→上五島)



岡本さんご夫婦

理想のライフスタイル

英稔さんと幸代さんは、千葉県で仕事をしているときに出会いました。その後は、ワーキングホリデーでオーストラリアやメキシコに滞在し旅をしていました。日本に帰ってからは岡山や神戸、京都で働いていました。朝から夜の遅くまで仕事をする生活が続いていたとき、地方に拠点を移すことを考え始めました。日の出とともに活動し、暗くなったら寝るというライフスタイルを求めて移住地を探しました。

上五島に移住したことで、仕事の時間に余裕を生み出すことができ、他のことをする時間を確保できました。英稔さんは家を借りている大家さんの紹介で、定置網漁業の船で仕事を始めました。幸代さんは、地元スーパー(カミテイ)で働きました。漁業の仕事は、日の出く14時に終わります。始めて1ヵ月した頃、仕事から帰ったあと、時間に余裕があったため「畑をして野菜を育てよう」と漁業に続き、2人で農業も始めました。

岡ちゃん農園

幸代さんは、5年間勤めた「カミテイ」を退社し、今まで少しずつ増やしていった畑で本格的に農業を始めよう！と挑戦しました。畑をしている人で知らない人はいないとされる「友二郎さん」との出会いから、今では3反半の面積の畑を管理しています。畑の「は」の字も知らない、ずぶの素人夫婦に友二郎さんは一から全てご自分の知っていることを教えて下さったり、農業用の道具は気兼ねなく使わせて頂いたりしました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。「友二郎さんの知り合いならウチの畑も使いー」と人づてに良い縁がとてもありました。



島で漁業・農業をしたい人

漁業は人手不足のため、島が好
きで、魚が好き、肉体力労働を頑張れ
る人であれば仕事ができます。魚の
臭いや、朝早く起きて仕事をする
こと、重労働に自信のない人には辛
いかもかもしれません。漁業経験のな
かった英稔さんも辛い部分はある
けど、新鮮な魚がすぐに食べられ
ることなど楽しみがあるので頑張
れるといえます。反対に、移住者が
0から「農業を仕事にする」という
ことは難しいと思います。地元の縁
もないため農地の確保や地理的な
課題があります。

しかし、島で生活し地域の人の
の関係性を築くことから始め、実
際に畑を貸してもらい経験を積
み、規模を大きくしていけば、収入
を得る可能性は大いにあります。
上五島のスーパーに並ぶ野菜は
島外のを多く仕入れている状
況です。良質な野菜を作り卸せば
確実に売れると感じます。上五島
は平地が少なく、ある程度の面積
を確保しようとすると島内に何箇
所も畑を所有することになりま
す。管理や鳥獣被害の対策も必要
になります。「上五島ではムリ」と
言われる農業も競争相手が少ない
ので逆にチャンスの一つになります。

新たなことを始めるうえで

一番大事なことは、地域の方にも
相談し、周りの方にも認知されな
がら活動を進めることです。昔から
地域に住んでいる人は、知らない人
が来てビックリする場合もありま
す。最初にしっかりと挨拶をするこ
とで、その人が近所の人に紹介して
くれたり、手伝ってくれたりしま
す。一度声を掛けてお話すると、親
身になってお世話をしてくれる人
がこの島には多いです。

人の縁を大切にすることで、生活
面、仕事面においても、より充実す
る地域だと感じます。



豊かな自然 製作に没頭



profile

高木 俊輔 1981年生まれ 上五島出身
菜津子 1987年生まれ 愛知出身
移住歴 H26～ (東京→上五島)



新上五島町 七目郷56-6



七目在住

OLD FELLOW COMPANY

革職人

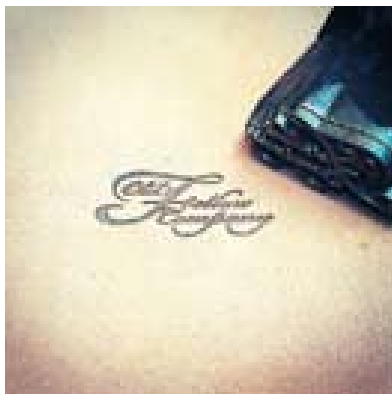
上五島出身の高木俊輔さん。「地元の高校を卒業後、東京の専門学校へ進学し楽器製造に関する技術を学びました。その後、東京・上野アメ横にある革専門店『革キチ』の店長を勤め、店頭での商品販売だけでなく新商品の企画、開発にも関わり専門的な知識を学んできました。」「いつしか、販売する側から製造する側に転職したいと考えようになり、独学でレザークラフトを始めました。」その後、プロの職人からの指導を経て技術を身につけていくことになりました。

東京から故郷での挑戦

革職人として独立。「都内、または郊外にアトリエを構えることも選択肢の中になりましたが、故郷の上五島列島に工房を構えたいという思いもありました。」決め手になったのは人口減少、過疎化というニュース。「自分の職業・技術・商品を通じて五島をアピールすることはできないだろうか。」という思いから2014年1月、上五島へ帰郷。

オールドフェロークャンパニー

昔ながらの製法で鞣されたフルベジタブルタンニンレザーを贅沢に使用。「耐久性にも優れた革素材を一点一点丁寧に手仕事のみで仕上げています。耐久性があるからこそ長年の使用にも耐え、経年変化を楽しむことができます。」



上五島を拠点にして

上五島の海と空の青に調和した素敵な建物。「五島列島を代表するものづくりの拠点になってほしいという願いをこめて工房を構えました。お客様同士の交流の場としても提供しています。」

高木さんは工房に知人やお客さんを気軽に受け入れコミュニケーションをとられています。

「今後は地元の学生に向けてワークショップの開催も考えています。上五島で働くことの可能性をもつくり体験の中から少しでも感じ取ってもらえると嬉しいです。」



島暮らしで気づいたこと

愛知県出身の菜津子さん。東京でハンドメイドアクセサリーの販売に関わる仕事をしながらヨガを続ける中、結婚を機に東京から上五島への移住が決まりました。「最初は島での生活に不安もありましたが、自然の豊かな地で生活出来ることにも魅力を感じていました。」

この地でヨガをやりたい

「上五島での生活を始める前にヨガインストラクターの資格を取得して移住と同時に活動をスタートしました。」「今は、施設へ出張したり、お寺を借りて『寺ヨガ』を開催したりしています。個人レッスンも行なっているので、地域の方との交流もたくさん生まれています。」



森と人生を切り拓く

profile

小野 敬 1972年生まれ 神奈川出身
千鶴 1980年生まれ 上五島出身
移住歴 H10~(横浜→旅→上五島)



新上五島町 小串郷40



小串在住

くらしの学校 えん

全財産4万円

神奈川県・横浜市生まれ。大学在学中に北米・南米の旅や、北海道を徒歩で一周するなど山登りや一人旅をはじめた、敬さん。卒業後1年間、東京で働いたのちに自給自足の暮らしを夢見て国内外を旅しながら定住地を探しました。その間、帯広野外学校指導員、キャンプリーダー、環境教育事業部実習生として、野外活動に従事し、子供たちと一緒に活動し環境について学ぶ楽しさを知りました。

1998年に上五島の大浦という無人の廃村に全財産4万円で移住しました。あたり一面、林に囲まれた場所にある空き家を借り車を横付けするための橋を架け、水を引くところからスタートし、道をつくるなど開拓を進めました。



上五島を定住地に

多くの地域をまわり、上五島を選択した経緯：「もともと川下りが好きだった敬さんは、長野県に移住する予定でした。移住する前に、旅をしていなかった九州を見ようという思いから九州の旅が始まりました。その中で、知り合いに「五島列島で自給自足をしている人」を紹介してもらい上五島を知りました。訪れた先で、製塩を産業にしようと考えていた方に声を掛けてもらい上五島への移住を決めました。1999年から、自然海塩の製造・販売を始め2001年「しまキャンプ」を主催。2005年千鶴さんと結婚し2007年に太志くんが誕生しました。

人との出会い

塩づくりを始めた頃、全国の知り合い300人ぐらいに「移住して塩づくりをはじめました。」と手紙を書いたところ100人を超える数の返事が届き、その手紙の内容には塩の注文もあり全て合わせるに200kgになりました。全国を旅して知り合った方々に感謝すると同時に上五島での生活に、より期待を持つことができた瞬間でした。地域の方にも消防団や、お祭り地域の活動に関わることで認知され、何かするときにパッと手を貸してくれる方たちに感謝しています。

くらしの学校えん

2001年、長期自然体験Ⅱ14泊(第1回 しまキャンプ)を実施するにあたり、活動主体を「くらしの学校えん」と名付けました。自給自足の挑戦と実践をしている一軒の民家で、製塩業を生活の基盤にし、訪れるお客さんに自然の中の暮らしを体験してもらっています。

住環境を含めて、田んぼ、畑、家畜の飼育、食環境も自分たちで賄おうと目指しています。



山村留学

2017年から、小学4年生〜6年生の子を対象に「山村留学」をはじめました。小野さんが家族の一員として留学生の子供を受け入れます。豊かな自然の中で、農漁業体験や環境教育・体験を1年通して行うことで、心身ともに強い子に育ってもらうことが目的です。また、「山村留学」で地域に子供が増え、活気が生まれることも期待しています。

しまキャンプ

1年間に3回「自分のことは自分でする」をコンセプトに、春(5泊)夏(7泊)秋(2泊)に開催しています。2016年までに43回実施し、島外から700名以上の子供たちと250名以上のスタッフが参加している「えん」主催のキャンプです。

親から離れ、自然と距離の近い生活を送り、子供達の心に太い根っこを育てる手伝いをすることを目標にしています。







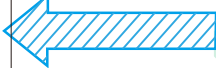


理想の景色を作る

地方には地方の良さがあるので、良さを生かす発展を期待しています。東京に上五島の海はマネできません。上五島の原風景を再生するために段々畑を切り開く作業をしています。船から、大浦地区の風景を見たときに「あそこには、何があるんだろう?」と思ってくれるような景色を作っていきたいです。

また、島を出た子供が五島を思い出すときに、海のほかに、日本の原風景である段々畑や自然の匂いを思い出してくれると幸せです。



イベントカレンダー

7 JUL	8 AUG	9 SEP	10 OCT	11 NOV	12 DEC
27.1°C	28.2°C	24.5°C	21.7°C	15.3°C	11.4°C
1年で一番  晴れる時期		 台風シーズン			 北風が強い 
■ 十七日祭 有川地区で9組の団体が、海童神社を皮切りに10箇所を即席のにわか芝居を奉納する祭。	■ 各地区花火大会 まつり		■ 神楽例大祭 有川神楽と上五島神楽があり、地域の保存会の方によって継承されています。国重要無形民俗文化財指定されています。 		
■ ペーロン大会 長崎の夏を彩る風物詩。ペーロン船で競争をします。 		■ ウォークアンドクルーズ 教会を海上クルーズとウォーキングで巡る2日間。五島のカトリックの歴史と文化にふれてみてください。			

2016年・気象庁の統計資料を。もとにしたデータですので、天候はその時々によってこととなります。
 ※他にも、地区ごとに楽しいイベントがあります。

波

上五島はコンスタントに波があるわけではないかもしれません。いい意味で波がない時があり、その分仕事や制作活動に熱中する時間をつくることができます。そして、波が立ったときは溜まっていたエネルギーを思い切り出すことができます。サーフィンを好きになった理由は温厚な人が多いこと、波が比較的優しいことです。初心者がサーフィンを始めるにも良い環境が揃っていました。

サーフボードブランド

「Lovers69 surf styles」立ち上げ

サーフボードを自分で修理しており、サーフボードの構造や作ることに対しての興味が生まれまし
た。自分のサーフボードをオーダーしていた方と仲良くなり、製造方法など分からないことを教えてもらったり、材料を分けてもらったりしていました。そのようなサポートがあり、2013年に、自分のサーフブランド「Lovers69 surf styles」を立ち上げました。サーフボードから、自分のブランドのプライドを感じ取ってもらえるようなモノづくりを心掛けています。

初期は、事業を大きくしようと考えましたが、自分のブランドを守るためにも生産性は落ちますが、1つのサーフボードをハンドメイドで時間をかけています。今後も、自信のある商品を販売することを続けたいと思っています。現在も行っている「フリーサーフスクール」の開催で、学生に上五島の海、サーフィンの魅力を伝えたいと思っています。

高校を卒業し、島を出る若い世代が、何年か後に「上五島の海が素敵だったから戻ろうか」と感じてくれるような体験をたくさんして貰いたいと思います。

また、島民が誇りに思うことができる、歴史・文化を大事に育んで欲しいのでサーファー仲間意識的にやっている「ビーチクリーン活動」を積極的に継続したいと思っています。












上五島の風景



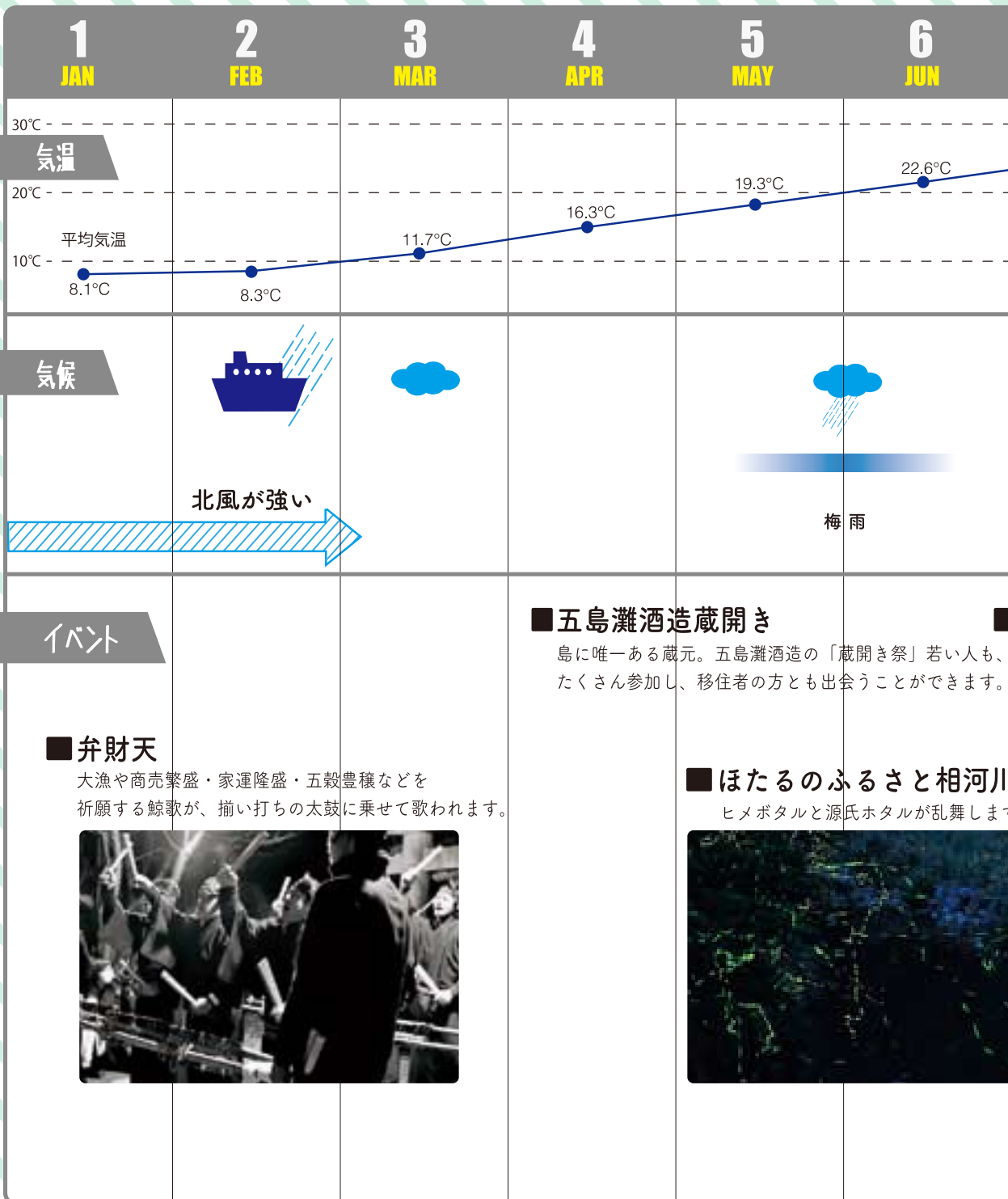
ここに掲載の写真は、新上五島町が実施するフォトコンテストに応募された作品の一部です。

イベントカレンダー

7 JUL	8 AUG	9 SEP	10 OCT	11 NOV	12 DEC
27.1°C	28.2°C	24.5°C	21.7°C	15.3°C	11.4°C
1年で一番  晴れる時期		 台風シーズン			 北風が強い 
十七日祭 有川地区で9組の団体が、海童神社を皮切りに10箇所で開催のわか芝居を奉納する祭。	■各地区花火大会 まつり		■神楽例大祭 有川神楽と上五島神楽があり、地域の保存会の方によって継承されています。国重要無形民俗文化財指定されています。 		
■ペーロン大会 長崎の夏を彩る風物詩。ペーロン船で競争をします。 		■ウォークアンドクルーズ 教会を海上クルーズとウォーキングで巡る2日間。五島のカトリックの歴史と文化にふれてみてください。			

2016年・気象庁の統計資料を。もとにしたデータですので、天候はその時々によってことなります。
 ※他にも、地区ごとに楽しいイベントがあります。

上五島の気候・



「移住についてどこに、相談すればいいですか？」

新上五島町役場
総合政策課
☎ 0959-53-1113

産業サポートセンター
☎ 0959-42-5067

「移住に向けての下見をしたい」

短期滞在施設を利用しての島暮らし体験や、空き家見学などができます。上五島にお越しの際は、訪問希望口を事前にお問い合わせください。

1年に1度「田舎暮らし体験ツアー」を企画しています。



短期滞在施設
15泊まで¥25,000～ 最大30泊まで

ホテル・旅館・民泊などの利用のほかに「短期滞在施設」もご用意しています。

仕事編

「仕事はありますか？紹介してもらえますか？」

ホームページにて、一部紹介しています。起業を考えている方は、産業サポートセンターで支援を受けることができます。

「農業や漁業について」

専業農家という方はほとんどいませんが、畑で作る野菜を地元スーパーに卸す方はいます。整備された畑は少なく、荒れた土地の開墾から始める必要があります。

漁業については、研修制度があります。また、後継者不足が大きな課題となっています。

新上五島町交流プラザ

検索



新上五島町役場

農林課 ☎ 0959-53-1166

産業サポートセンター

水産課 ☎ 0959-53-1116

☎ 0959-42-5067

引っ越し編

「引越しの費用は、いくらかかりますか？」

荷物は陸路と船便での運送になります。予想以上に高額になる場合があります。早い段階で運送業者に相談し、できるだけ運送費用を抑えるようなアドバイスをお願いします。

東京⇄上五島

▼ 4名の家族の事例紹介

単身パック1つ4万円

4つ利用=16万円

その他、段ボールや粗大ゴミの

処理費用が4万円

全体費用は約20万円程度

「住まいはどのようなにして、探したらよいでしょうか？」

「空き家バンク」を設置し、売却・賃貸を含めた空き家情報を公開しています。

不動産会社は、島内に複数あります。

不定期になりますが、町営住宅の入居者募集の案内も告知されます。

家族の人数に合う家の大きさ、ペット可・不可の確認など自分が住む想像をして探しましょう。

「家賃の相場はいくらぐらい？」

中心地の空き家やアパートだと4〜5万円台が平均的な価格です。中心部から離れた場所はそれより低価格の物件が多いです。

新上五島町交流プラザ 物件情報

検索



「生活費はどのくらいかかりますか？」

離島という事で、物価が高いイメージがあると思いますが、スーパーやドラッグストア、ホームセンターの進出により本土とあまり差はありません。

天候不良や時化などで、フェリーが欠航になった際には、野菜の値段が高くなる傾向にあります。本土との大きな差は、ガソリンの値段。1ℓあたり30円程本土と比べて高いです。

夫・妻・子供2人（13歳、10歳）
▼4人家族の場合（1ヶ月）

収入	: 200,000円
家賃	: 20,000円
郷費	: 1,400円
光熱費 (電 7000 ガ 3500 水 4000)	: 15,000円
自動車保険	: 8,000円
ガソリン代	: 15,000円
電話、インターネット	: 12,000円
トイレ汲み取り	: 2,000円
給食費	: 10,000円
食費・雑費	: 50,000円

「人付き合いが多いイメージなんですが？」

都会の生活と比べると「近所付き合い」が増えると思います。季節ごとに、お祭りや清掃活動があります。

人手不足のため、行事に参加すると喜ばれます。参加できなくても、日常的に地域の人とコミュニケーションがとれていれば問題ありません。旬の野菜・果物、新鮮な魚を頂くことができる交流が生まれて楽しいですよ。

もしも、地域の方との関わり方で不安なことがあれば、移住者の方に相談することも1つの手段です。



check!

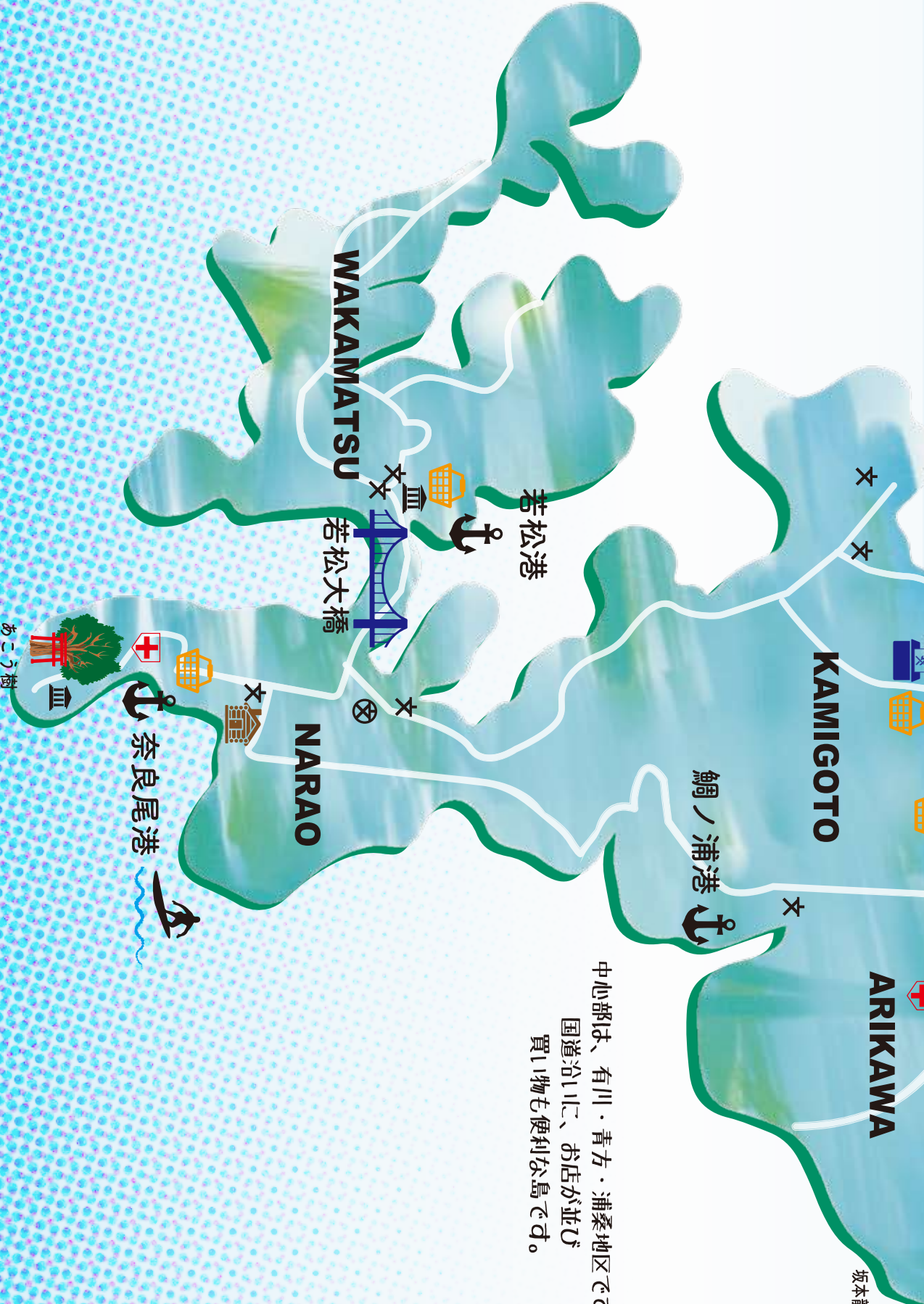
人口 20,153 人
(2016年12月現在)

面積 213.94 km²

文	小学校・中学校
⊗	高校
皿	役場
+	病院
🏪	スーパー
🏪	ドラッグストア
🏠	ホームセンター
🏪	コンビニ
🏠	短期滞在施設

MAP





中心部は、有川・青方・浦桑地区です。
国道沿いに、お店が並び
買い物も便利な島です。

Q 五島に来るきっかけは？

子供が育つ環境を考えて

自然の中で、海の近くで暮らしたい

海を求めて

Q 学校はどんな？

高校までは、島内で進学することができます

1人1人に目が行き届き家族のように接してくれる

周辺部の学校は、部活の選択肢が少ない

Q 住んでみての衝撃は？

野菜や魚をたくさん頂くこと

夏場 7時過ぎまで明るい

イノシシ・シカがでること

夏と冬が寒い、風強い

朝日、夕陽、夜空がきれい

シラネが汲み取り式・梅雨のカビ・虫の出現

Q 地元との交流

地域の祭・消防団・神楽

地域の清掃日

ビーチクリーン

Q 島を出たいときは？

ファストフードが恋しくなるとき

大型商業施設などに行きたいとき

映画を見たいとき

Q 携帯・ネット環境は？

地区によって繋がりにくいキャリアがある

FREE Wifi スポットが複数ある

中心地では光回線も利用できます

Q 買い物は？

食材など、日用品は島内で不便なく揃えることができます

スーパーもコンビニもあるし、意外と不便じゃない

専門的なもの・服は、ネット・島外に出たときに買います

Q 引っ越しは？

費用・約20~30万

単身パックで引っ越しするのが費用を抑えられる

ペットの輸送がある場合も対応が必要です

Q 以前の住まいとの違いは？

理想の自然の中に自分の暮らしがある

家が広く家賃も安い、眺めもいい

信号少ない

車がないと困る

Q 上五島のよさ

遊ぶ環境自体は豊富にある

観光地感がないところ

人が魅力

時間を有効に使うことができる

Q 移住者へアドバイス

可能性は十分にある島です

「住めば都」にしてください

お子さんがいる家庭も大歓迎です

1度、来てみて五島を感じてください

SNSで情報収集しましょう！

来てみたら何とかなりますよ

Q 家探しは？

ライフスタイルに合う地区選びが必要

地元の家を紹介してもらえることもあります

親族が帰省してくるため、空き家でも貸していない家があります

Q 仕事の探し方は？

五島にない仕事をするのはチャンスです

地域の仕事は、色々あります

手に職があれば、地域で挑戦してみることもいいです

Q 島ならではの不安は？

船が欠航になるときがあり、予定がズレる

老後の医療面

永井 響



- 1.1991年8月3日
- 2.俳優（ジャングル）
- 3.映画『くも漫。』、ドラマ『こえ恋』
モデルとしてデビュー後、俳優として
ドラマ、映画、CMなど様々な作品で活躍中。
- 4.上五島高校
- 5.何と言っても海と自然です。島の魚料理もより美味しく
感じますし、上五島出身であることが今では自慢になっています。
- 6.『蛤浜海水浴場』 季節ごとに景色も変わって、飽きることがありません。
- 7.『弁財天祭り』早朝から夜中まで、鯨歌を歌って太鼓を叩いていました。
- 8.島の豊かな自然と食でお子さんも、たくましく成長出来ること間違いありません！
- 9.上五島は本当に素敵な島です。島の人達もあたたかく迎え入れて下さると思います。



松浦慎一郎

- 1.1982年9月22日
- 2.俳優
- 3.映画『かぞくへ』主演・原案
- 4.上五島高校
- 5.家族や大事な人との時間を
大切に使えるところ
- 6.駄菓子屋『なかよし』
- 7.『弁財天祭り』
- 8.家族でも、彼女でも、ペットでも、仕事でも、なんでも
なにかに向き合う時間を大切にしたい人
- 9.文章や文字で伝えきれません。
是非、一度来て上五島に触れて下さい。



断崖』

うどん、教会が
です。

一発で悩みを

永尾 亜子



- 1.1993年12月7日
- 2.アナウンサー（フジテレビジョン）
- 3.フジテレビ系列『みんなのニュース』
- 4.上五島高校
- 5.空気が美味しいところです。
- 6.『観音岳公園』家族とのピクニックや小学校の遠足でよく行っていました。
- 7.『矢堅目』変わった形の岩と美しい夕日が織りなす絶景に感動します！
- 8.田舎での～んびり暮らしたい、でも島暮らしはちょっと不安…
そんな人にお勧めです！病院などの公共施設やスーパーもあるので、不便に感じることはないと思いますよ。
- 9.島の方は、島外から来た人たちに対して優しく温かく、
とってもオープンです。ぜひ一度、来てみんなね！

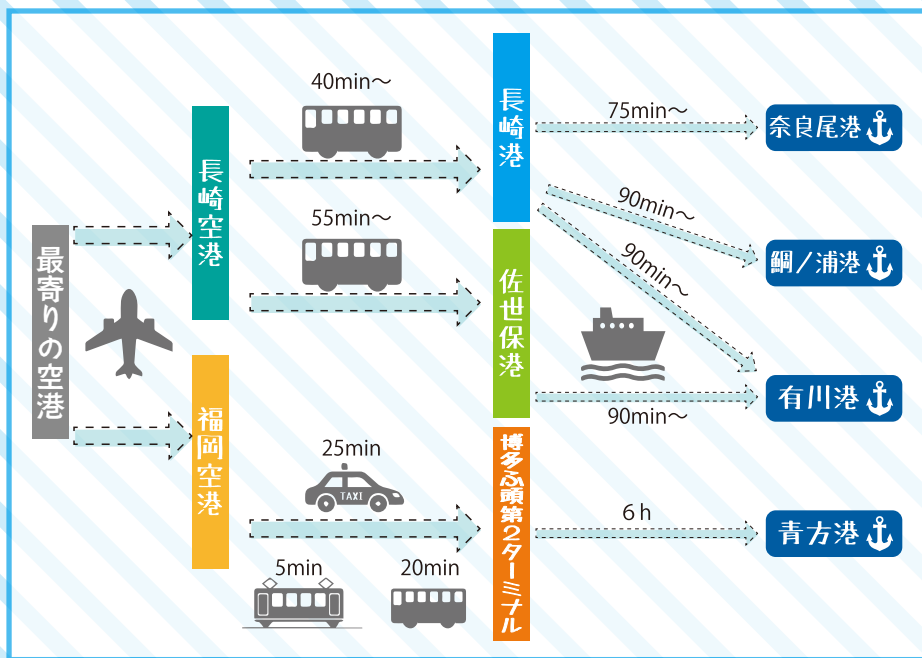
古木のぞみ



- 1.1988年1月12日
- 2.声優（マウスプロモーション）
- 3.『ぼらかもん』山村美和役
- 4.上五島高校
- 5.空が広く、昼は太陽が
良く見え、夜は星がいっぱい見える。
とにかく、魚が美味しい。
- 6.『ふれあいランド』ファミリーで楽しめる公園。
『矢堅目』アニメのキャラクターに似てると、話題になっている岩です。
- 7.『蛤浜海水浴場』
勝手に「上五島のウユニ塩湖」と呼んでます（笑）
- 8.自然に囲まれて生活したい方！！魚が好きな方！！
子育て世代の方！！
- 9.是非、自然に囲まれて、四季を感じてください。
自分にとって、本当に必要なものかわかるかもしれません。

藤原たけし

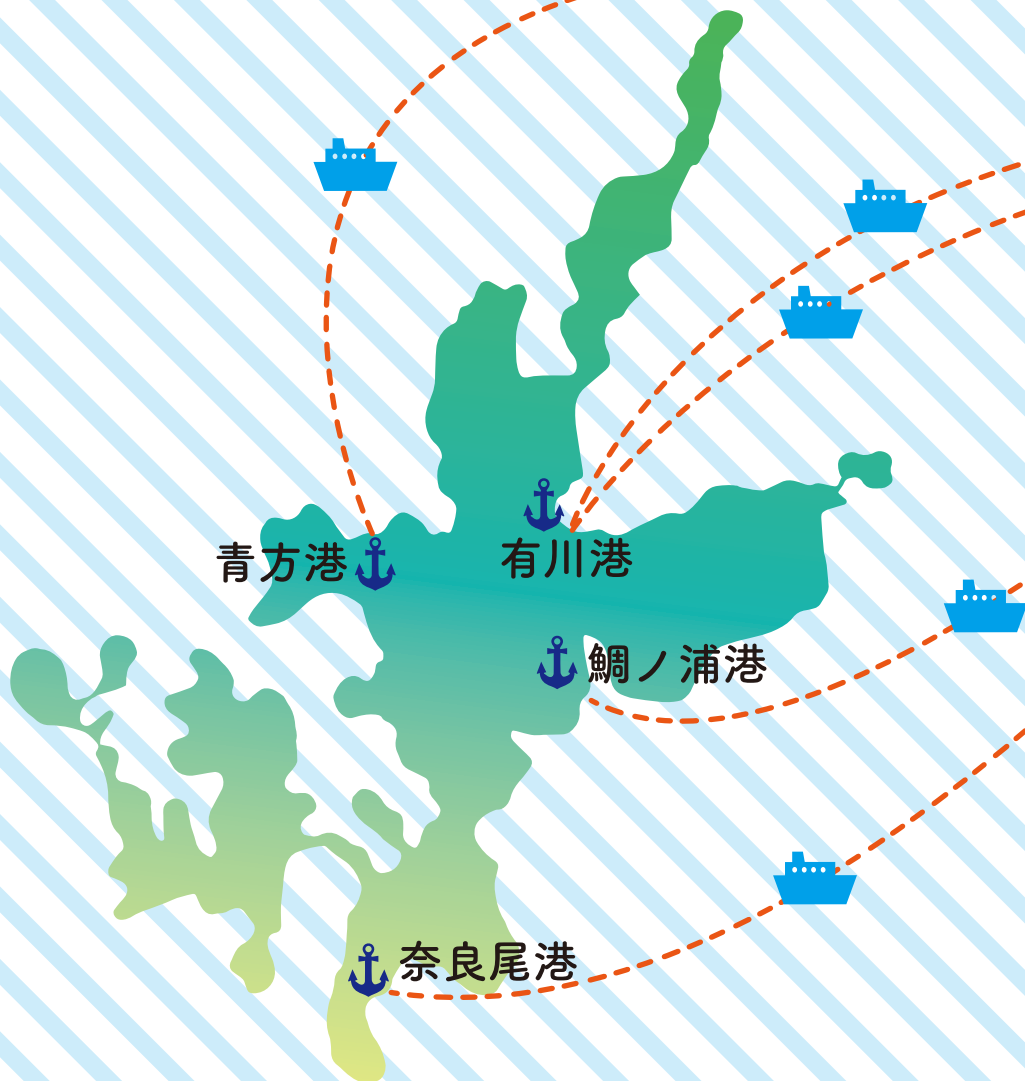
- 1.1976年7月10日
- 2.芸人（よしもと）
- 3.上五島観光物産大使
大宮ラクーン吉本劇場
- 4.若松中学校
- 5.人の温かさ
- 6.『若松大橋』『津和崎灯台』
- 7.『高井旅海水浴場』『赤ダキ』
- 8.とにかく自然、海、山、魚、
大好きという方にオススメ
- 9.自然が魅力です。
エメラルドグリーンの海は
吹き飛ばしてくれますよ。



	五島産業汽船	九州商船	野母商船
☎	0959-42-3447	0959-44-1515	092-291-0510
所要時間	フェリー / 高速船 (2時間30分) / (1時間40分)	フェリー / 高速船 (2時間30分) / (1時間40分)	フェリー (6時間)
航路	長崎港 ↔ 鯛ノ浦港	長崎港 ↔ 有川港	博多港 ↔ 青方港
	佐世保港 ↔ 有川港	長崎港 ↔ 奈良尾港 佐世保港 ↔ 有川港	

旅の計画に合う船会社を選択してください。ダイヤや運賃が季節ごと、天候によって変更します。事前の確認をお願いします。

上五島へのアクセス



新上五島町コミュニケーションポータルサイト「交通アクセス」をご利用ください。

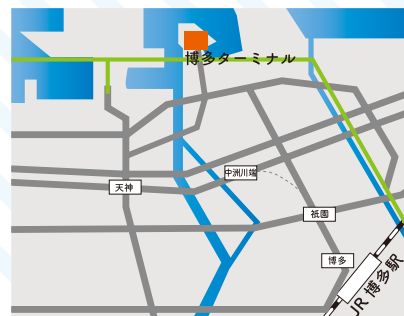
長崎港



佐世保港



博多港



上五島病院

住所：〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷1549-11
電話：0959-52-3000

有川医療センター

住所：長崎県南松浦郡新上五島町有川郷2255
電話：0959-42-0320

奈良尾医療センター

住所：長崎県南松浦郡新上五島町奈良尾郷712-3
電話：0959-44-1010

上記以外に、個人医院や診療所もあります。
(診療所、歯科医院、眼科医院、介護施設など)

補助金一覧

・空き家活用事業補助金

空き家の改修費用を補助する制度

・若者定住促進事業補助金

40歳以下の若者の住宅取得を応援する補助制度

・出生祝金

第1子、第2子 **50,000円** 第3子以降 **100,000円**

その他にも、補助金制度があります。気軽にお問い合わせください。

ホームページ情報

交流プラザ

仕事、空き家、婚活について



役場

町全体の情報について



観光物産協会

観光情報について



上五島移住ナビ



#上五島 #移住 #五島列島 #iターン SNSで、情報収集してみてください。



五 island



かみごとうへ

いじゅう

ぶろじえくと

かみご島へ **IJU** プロジェクト